

【樹木の部屋】

モッコク(モッコク科モッコク属 *Ternstroemia gymnanthera*)

和名：木斛（モッコク） **別名**：アカミノキ

英名：Japanese cleyera、Japanese ternstroemia

ツツジ目 常緑・高木 **原産地**：日本、中国、朝鮮半島、台湾

花言葉：人情家 **花の色**：白、クリーム



← 写真-1 モッコクの樹姿

撮影日：2015 年 06 月 20 日

撮影場所：大和郡山市大和民族公園にて

撮影者：M さん



↑ 写真-2 モッコクの葉と蕾

撮影日：2015 年 06 月 20 日

撮影場所：大和郡山市大和民族公園にて

撮影者：M さん

大和郡山市郊外にある大和民族公園で見かけました。多くの家庭に植栽されている、ポピュラーな樹。ここでは、蕾が付いていました。モッコクは江戸五木、三大庭木の一つ。モッコクは雄蕊と雌蕊のある両性花（一般的にいう「普通の花」）を咲かせる株と、雌蕊が退化して雄蕊のみとなった雄花を咲かせる株があり、雄花は実を付けません。両性化をつける株には 1cm あまりの大きさの

卵状球形の果実が実り、秋になると熟してぶ厚い果皮が裂け、赤い種子が露出する。この種子は鳥によって食べられて親木から離れたところまで運ばれると考えられている。また、この種子は樹上で赤く目立つため、アカミノキの別名がある。

樹皮は繊維を褐色に染める染料として利用される。

<ちょっと一言>

*江戸五木・・・モッコクその他

- ・アカマツ 学名：Pinus densiflora
マツ科マツ属の常緑針葉樹
- ・イトヒバ 学名：Chamaecyparis obtusa 'Pendula'
ヒノキ科ヒノキ属の常緑針葉樹
- ・カヤ 学名：Torreya nucifera
イチイ科カヤ属の常緑針葉樹
- ・イヌマキ 学名：Podocarpus macrophyllus
マキ科マキ属の常緑針葉樹

*三大庭木・・・モッコクその他

- ・モチノキ 学名：Ilex integra
モチノキ科モチノキ属の常緑・高木
- ・モクセイ 学名：Osmanthus fragrans
モクセイ科モクセイ属の常緑・小高木

*モッコク属はツツジ目ツバキ科として紹介されている書籍もあります。